



【PLAYNICK】
B♭クラリネット用マウスピース

PlayEasy B1 ……¥25,000 (税別)
ティップオープニングがやや狭く、レスポンスに優れるが、適度な抵抗感も伴う伝統的なスタイルのモデル。レジェールのリードとの相性も良い。

PlayEasy B2 ……¥25,000 (税別)
フレンチ用のベストセラーモデル。豊かな響きを持ち、レスポンスにも優れる。通常のケーンのリードを使う人が多いが、レジェール・リードとの相性も良い。

PlayEasy B3 ……¥25,000 (税別)
広いオープニングを持ち、楽に息を吹き込める。音量大きくフレキシブルなマウスピース。レジェール・リードとの相性も良い。

Solist M ……¥23,000 (税別)
非常に豊かな響きを持ち、国を問わず人気が出ているモデル。通常のケーンのリードを使う人が多いが、レジェール・リードとの相性も良い。

めてくれます。

その心地良い抵抗を作っているのは、マウスピースのフェイシング部分のレールの幅だと思ふ。NIC Kは一般的なフランスのマウスピースよりもこの幅が太い。ティップのレールも太め。これがサウンドに厚みとまろやかさをもたらし、音を均質にしています。これは私の大好きなジャーマン・リトーストリアン・サウンドの特長ともいえる。

レールが太いとリードが暴れません。レールの細い一般的なマウスピースではリードがバクつきやすくなる。その点NIC Kでは音がきちんとホールドされる。だから安心して美しいピアニシモも出せるんです。低音域から高音域までムラなく均一な音が出せるのもそのせいです。フランスのマウスピースは往々にして均質性に問題があり、高音域も甲高い音になりがちですが、NIC Kでは高音域も落ち着いた響きで楽にコントロールできます。

——それが、サウンド以外でもフランスのクラリネット奏者たちに好まれる理由なんでしょうね。

ボルシヨス だと思えます。もちろん、リードの組み合わせを変えれば明るい音も出せるし、さらに暗く柔らかい音も出せます。NIC Kのサウンドはとても美しいの

で、室内楽で効果的に使う人もいますね。

——一般的なフランスのマウスピース以外では、日本ではアレキサンダー・ヴィルシャヤー（オーソトリア製）も人気がありますが、ヴィルシャヤーも傾向としてはNIC Kに似ていませんか？

ボルシヨス 詳しくは分からないけれど、レールの太さなどコンセプトやアイデアはとても似ていると思ふ。

——ヴィルシャヤー愛用者もぜひ試してみると面白いと思います。

ボルシヨス ニック本人は宣伝にあまり熱心ではなく、今までNIC Kを知らない人が多かった。グローバルが代理店を務めるようになって、これからは日本でももっと拡がるでしょうね。

レジェール・リードとも相性が良い。

——NIC Kのフレンチ用には「PlayEasy」のB1、B2、B3と「Solist M」の4種類のモデルがありますが、お吹きになってどんな違いを感じますか？

ボルシヨス 私が主に使っているのはB2です。B1はフレンチ用の最初のモデルで、ティップオープニングがほかよりもやや狭く（フェイシングはやや短め）、少し硬めのリードがフィットします。B2はバンドーレンのB40に近いティップオープニングで（フェイシングは中程度）B3はB40のシリィズでは最も人気のあるモデル。B3はティップオープニングが大きめで（フェイシングは長め）、楽に音を出せるマウスピース



ボルシヨス氏は4本のPlayEasyB2をリードの具合によって使い分けている。